

聞く・見る・話すin裁判所2018(いわき)

福島地方・家庭裁判所いわき支部では、7月25日(水)に、小学5・6年生の児童とその保護者の方を対象に、夏休み子ども体験学習会「聞く・見る・話すin裁判所2018」を開催しました。

当日は8名の小学生の方と、保護者の方にお越しいただき、裁判所や裁判の仕組みを勉強するDVD「リホちゃんナビスケの裁判所ってどんなところ?」をご覧いただいたり、クイズや模擬裁判を体験していただいたほか、裁判官と一緒に判決を考えるなどしました。参加した児童からは「とっても面白い見学会だった。」「ドキドキした。すごい体験だった。模擬裁判のセリフを言うのが大変だった。」などの感想を、保護者の方からは「なかなかできない体験で、法廷見学や模擬裁判ができたことは良い思い出になった。」「学校の社会科の授業を理解する上でも、今日の体験は貴重で有意義だったと思う。」などの感想をいただきました。



検察官役の児童が、鋭い質問をしています。



弁護人役の児童が、被告人を弁護しています。



裁判官が、模擬裁判の論点などを説明しています。

児童と保護者が一緒に判決を考えました。



たくさんのご参加ありがとうございました。